

2020年3月期 第2四半期 決算説明会

昭和産業株式会社

東証一部 証券コード：2004

2019年11月21日



本日のスケジュール

- I.** 2020年3月期第2四半期決算概要 10:30～
- II.** 株主還元について
- III.** 2020年3月期 業績予想
- IV.** 「中期経営計画17-19」の進捗状況
代表取締役社長 新妻一彦
- V.** 穀物原料事情概況 11:00～
原料部長 伊藤大祐
- VI.** 質疑応答 11:10～

I . 2020年3月期 第2四半期決算概要

I-1. 決算とそのポイント

<連結ベース>

(億円)

	2020年3月期 上期	2019年3月期 上期	増減	前期比
売上高	1,281	1,277	3	0.3%
営業利益	50	47	3	6.3%
経常利益	59	55	3	6.4%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	45	38	6	17.0%

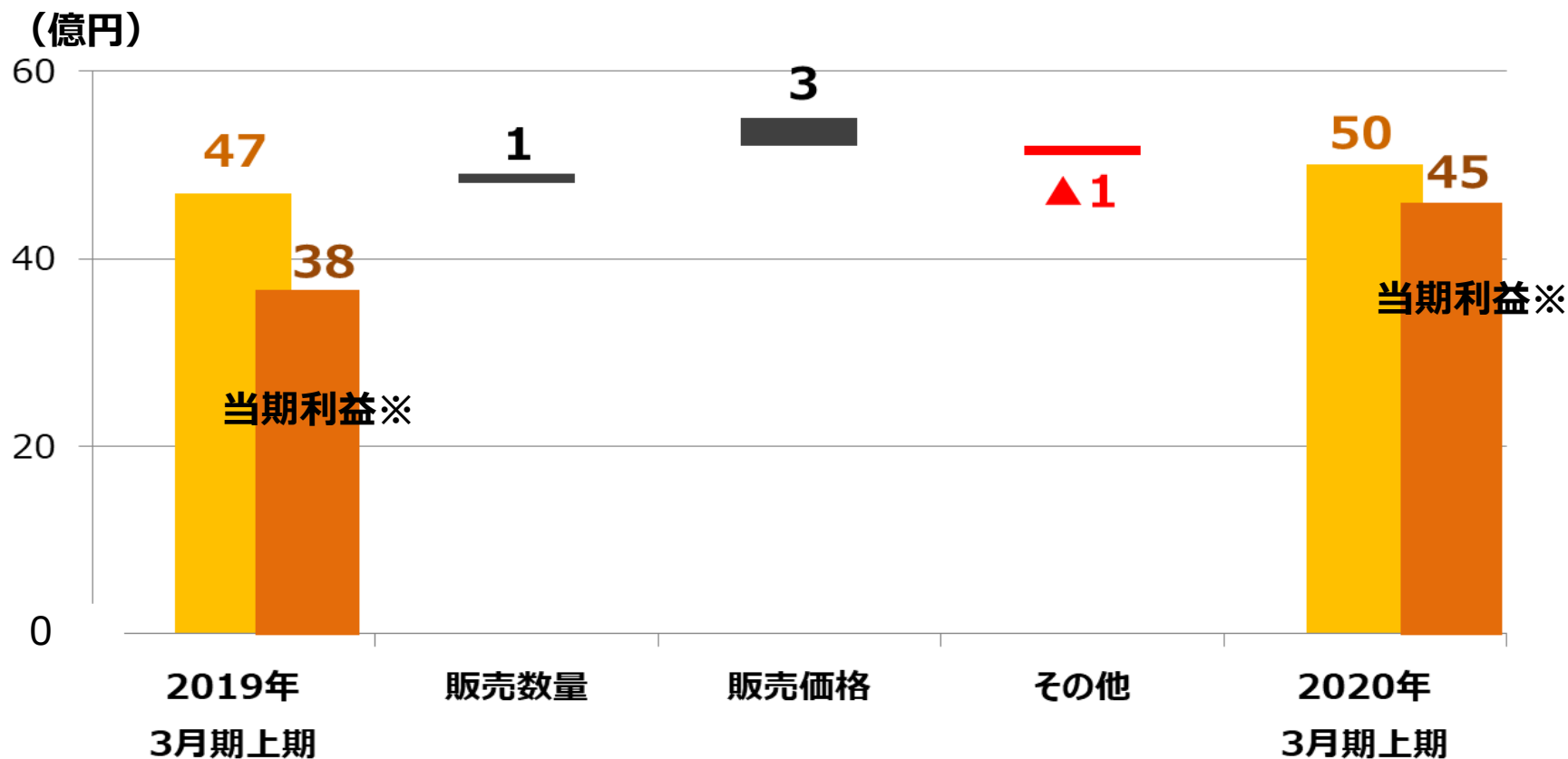
- ①売上高・純利益はともに過去最高の業績
- ②油脂製品、糖質製品の価格改定を実施
- ③糖質事業が前年同期を大きく上回る

I -2. 連結営業利益の増減要因

2019年3月期上期
47億円

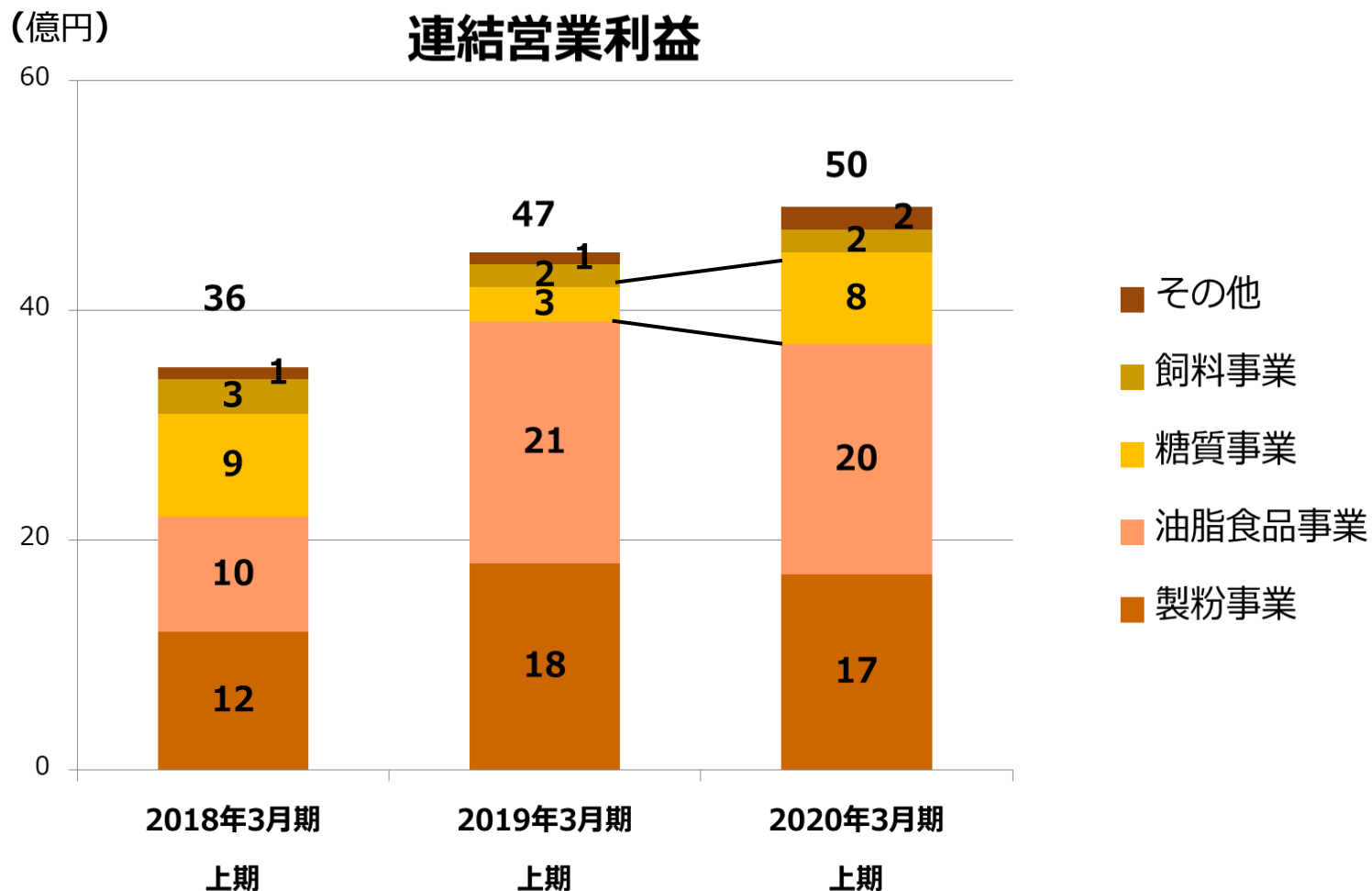
+3億円

2020年3月期上期
50億円



※親会社株主に帰属する当期純利益

I-3. セグメント別営業利益



- 糖質事業が前期比126.3%の大幅増益
- 製粉事業、油脂食品事業、飼料事業はほぼ前年並み

I -4. 連結貸借対照表の概要

2019年3月期上期
総資産 1,747億円

▲49億円

2020年3月期上期
総資産 1,697億円

流動資産 ▲39

▲20

現金及び預金

▲39

受取手形及び売掛金

棚卸資産

+18

固定資産 ▲9

▲4

有形固定資産

▲3

投資有価証券

負債 ▲70

(億円)

▲31

買掛債務

▲24

設備関係債務

純資産 +21

四半期純利益

+45

▲11

配当金支払

▲11

自己株式

NET有利子負債

259億円

+21億円

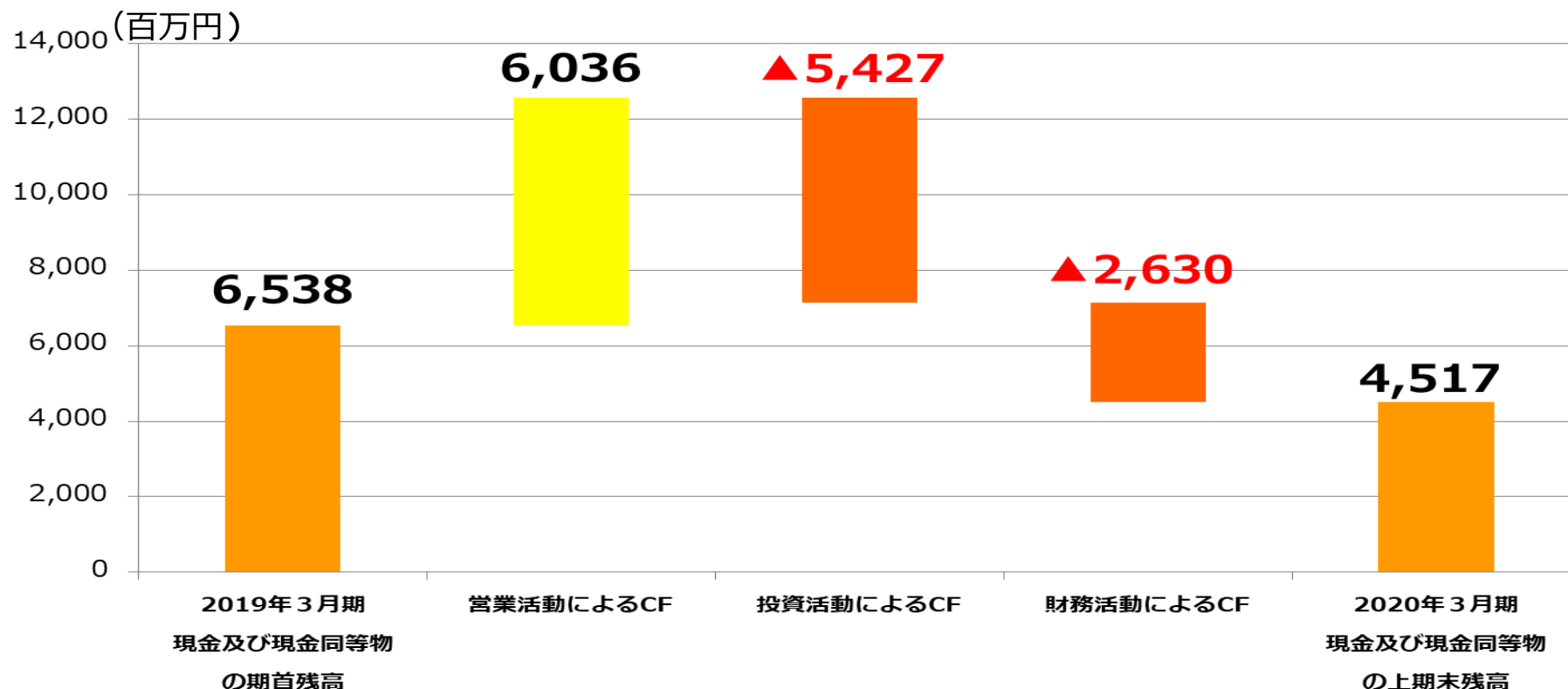
自己資本比率

50.0%

+2.6%

I-5. キャッシュ・フローの概要

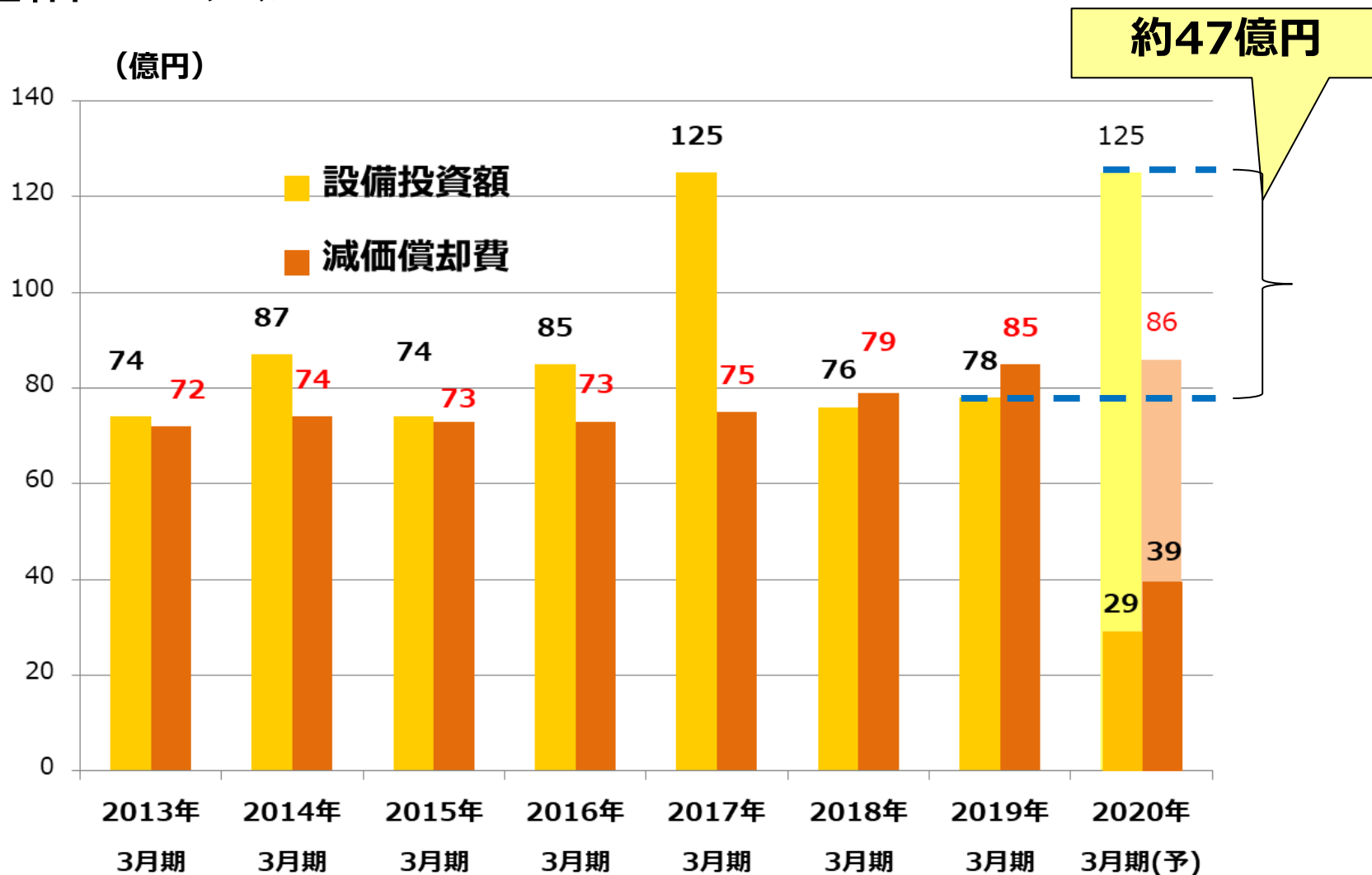
<連結ベース>



- ・ 営業CF：税金等調整前四半期純利益・減価償却費等による資金の増加
- ・ 投資CF：有形固定資産の取得等による支出
- ・ 財務CF：配当金の支払い・自己株式の取得などの支出
- ・ 現預金残高：45億17百万円と期首比20億21百万円の減少

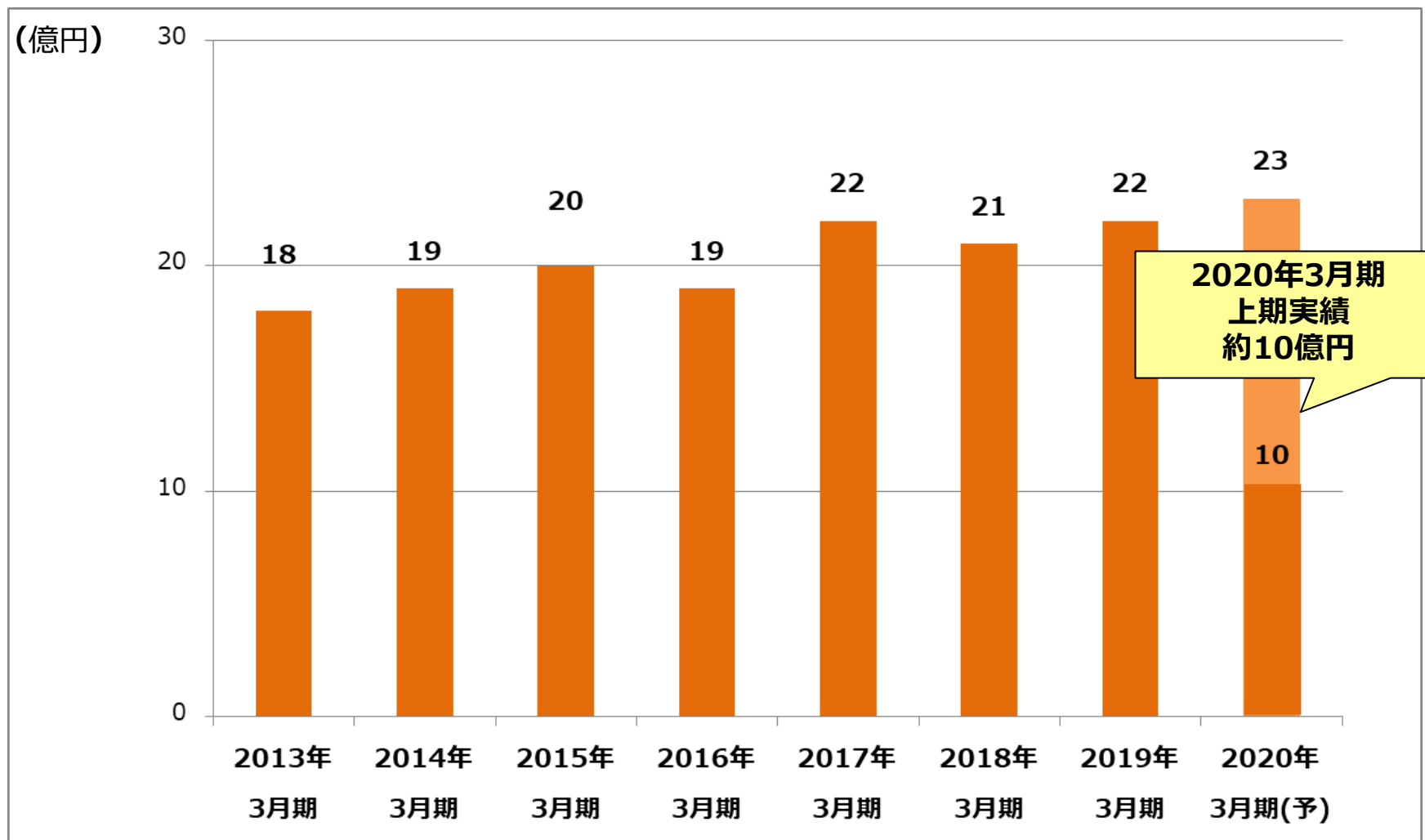
I -6. 設備投資額・減価償却費の推移

<連結ベース>



I-7. 研究開発費の推移

<連結ベース>



Ⅱ．株主還元について

Ⅱ-1. 株主還元方針

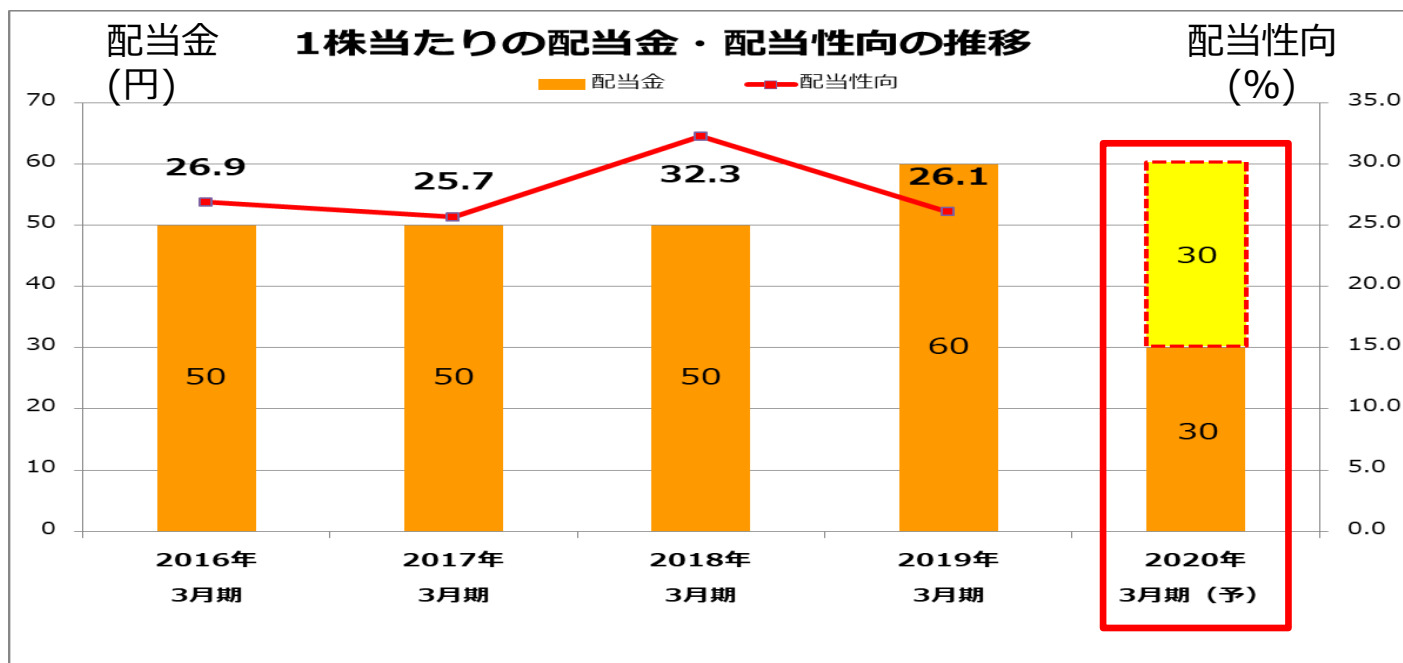
上場企業の責任として、企業価値向上に努めるとともに、
安定的な配当を継続しながら株主への利益還元を積極的に実施



Ⅱ-2. 株主還元

① 配当

● 2020年3月期上期 1株配当 30円



② 自己株式

● 当社自己株式 15億円を取得

- 目的：株主還元及び資本効率向上のため
- 時期：2019年5月10日から2020年3月31日まで

Ⅲ. 2020年3月期業績予想

Ⅲ-1. 業績予想とそのポイント

<連結ベース>

(億円)

	2020年3月期 (予想)	2019年3月期 (実績)	増減	前期比
売上高	2,610	2,559	50	2.0%
営業利益	88	84	3	4.2%
経常利益	100	97	2	2.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益	70	72	▲2	▲3.5%

ポイント

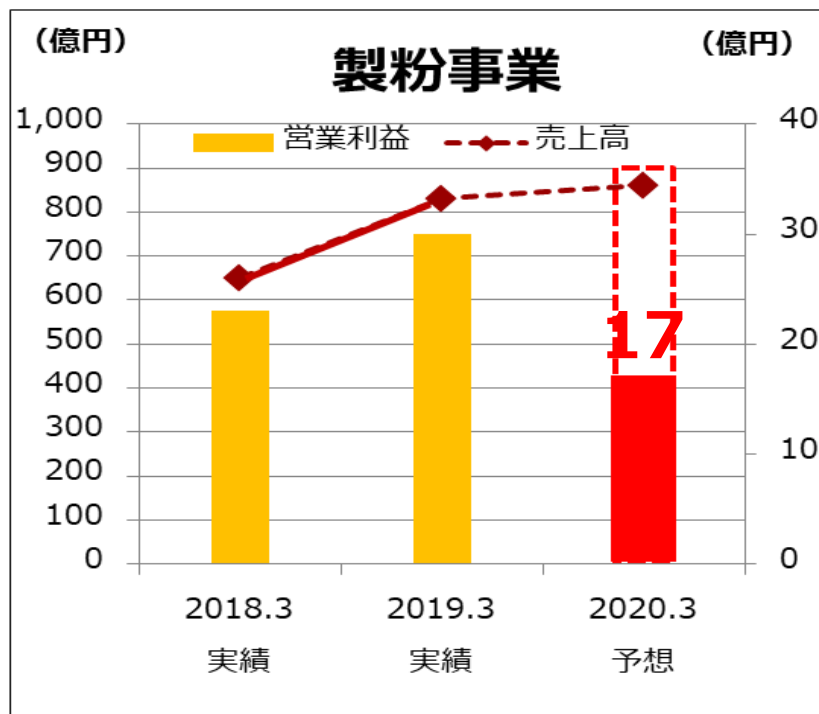
- ①業績予想は5月9日発表から変更なし
- ②油脂製品、糖質製品の価格改定を継続実施
- ③機能性製品の拡販

Ⅲ-2. 2020年3月期セグメント別業績予想

(億円)

連結 ベース	売上高			営業利益		
	通期予想	上期実績	下期予想	通期予想	上期実績	下期予想
製粉	861	420	441	36	17	19
油脂食品	800	395	405	34	20	14
糖質	350	179	171	10	8	2
飼料	545	258	287	7	2	5
倉庫	28	14	14	7	3	4
不動産	20	10	10	11	6	5
その他	2	0	2	0	0	0
会社費用等				△19	△8	△11
合計	2,610	1,281	1,329	88	50	38

Ⅲ-3. セグメント別業績予想 製粉事業

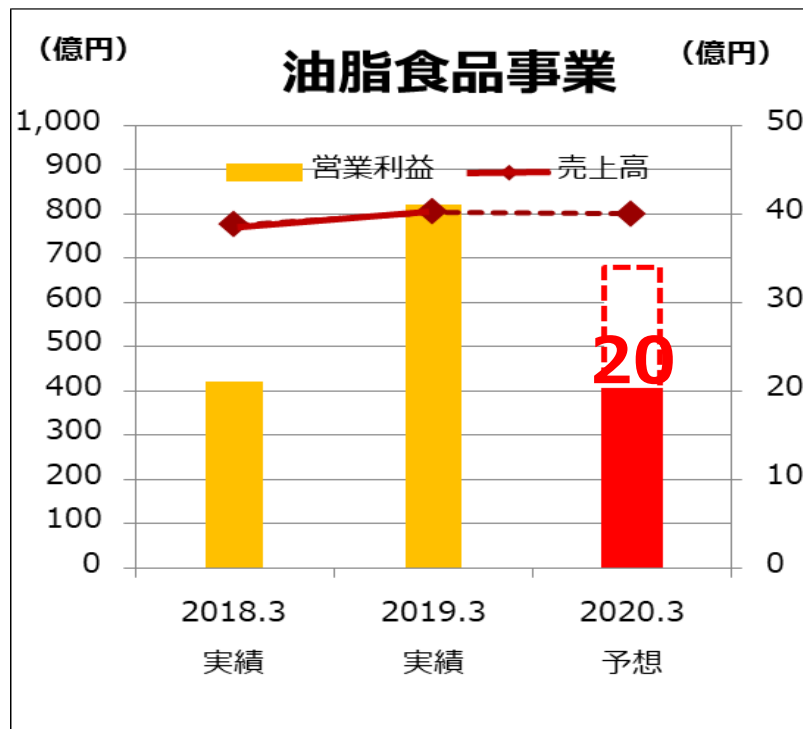


(億円、%)

	2020年 3月期 (予想)	2019年 3月期 (実績)	増減	前期比
売上高	861	831	29	3.6
営業利益	36	30	5	18.2

- マーケット分析力を生かした「価値提案型営業」の強化
- 大手流通との取組強化、エリア別・業態別の販売戦略の構築
- 新製品の拡販
- 原料調達、生産体制の最適化推進

Ⅲ-4. セグメント別業績予想 油脂食品事業



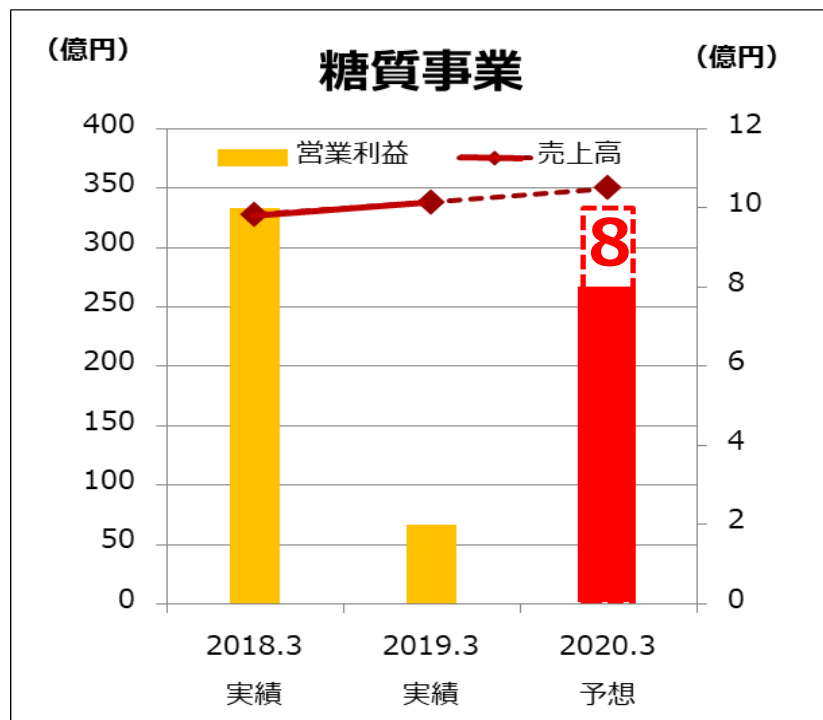
(億円)

	2020年 3月期 (予想)	2019年 3月期 (実績)	増減	前期比
売上高	800	804	△3	△0.5
営業利益	34	41	△7	△17.5

- 業務用・油脂製品の価格改定、および販売管理の徹底
 - ・課題解決型提案営業の徹底、および機能性製品の拡販
- 家庭用・家庭用油脂製品の価格改定、および販売管理の徹底
 - ・プレミアムオイル（オリーブオイル）の拡売
 - ・天ぷら粉60周年に向けたPR強化

Ⅲ-5. セグメント別業績予想 糖質事業

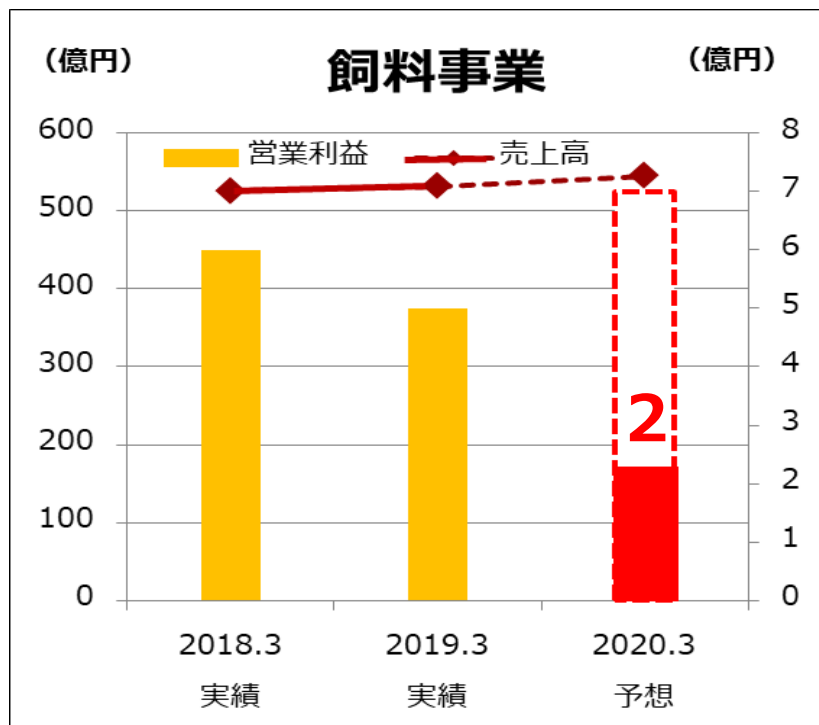
(億円)



	2020年 3月期 (予想)	2019年 3月期 (実績)	増減	前期比
売上高	350	338	12	3.7
営業利益	10	2	7	254.3

- 糖質製品の価格改定の推進
- 他事業とシナジーが発揮できる菓子・ベーカリー市場に注力
- 機能性製品や食品用加工でん粉などの拡販
- 鹿島工場の粉末水あめの設備更新増強による拡販

Ⅲ-6. セグメント別業績予想 飼料事業



(億円)

	2020年 3月期 (予想)	2019年 3月期 (実績)	増減	前期比
売上高	545	532	12	2.4
営業利益	7	5	1	33.3

- 鶏卵を中心とした販売の強化と飼料拡販
- 飼料原料販売の一元化・集約による、拡販および利益向上
- コスト優位性を生かした販売数量の拡大および収益の確保

Ⅳ. 中期経営計画17-19の進捗

IV- 1. 長期ビジョンの概要

ありたい姿（長期ビジョン）

SHOWA Next Stage for 2025

〔期間〕 2017年度～2025年度（9年間）

〔目標〕 連結売上高 4,000億円、連結経常利益200億円

長期ビジョンの実現に向け、
中期経営計画を三次にわたり展開

～3rd Stage～

中期経営計画23-25

収 穫

～2nd Stage～

中期経営計画20-22

確 立

～1st Stage～

中期経営計画17-19

現状

ありたい姿に向けた
足場固め

IV-2. 中期経営計画17-19の概要

～1st Stage～ **中期経営計画 17-19**

基本方針： “**ありたい姿の実現に向けた足場固め**”

安定的収益基盤の確立と更なる成長への準備

〔期間〕 2017年度～2019年度（3年間）

基本戦略

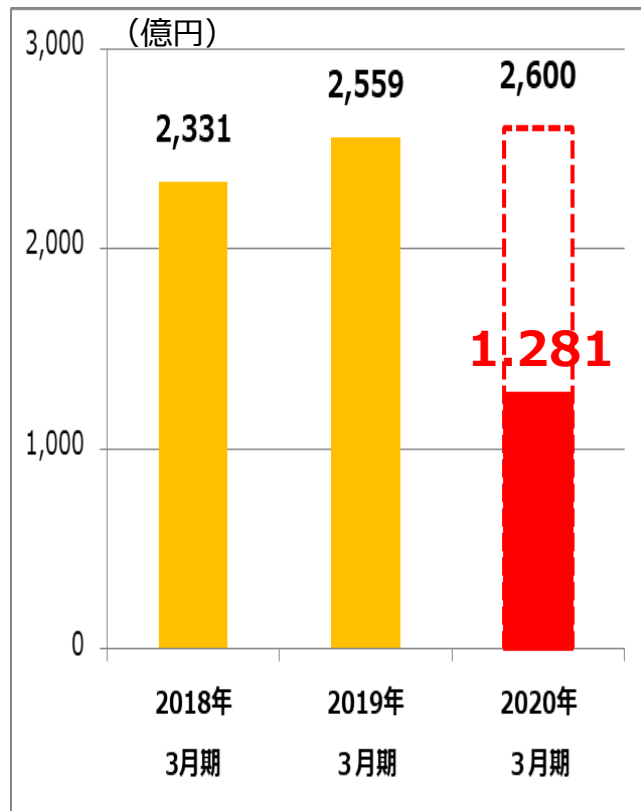
- ①基盤事業の強化
- ②事業領域の拡大
- ③社会的課題解決への貢献
- ④プラットフォームの再構築
- ⑤ステークホルダーエンゲージメントの強化

数値目標

連結売上高	2,600億円
連結経常利益	115億円
R O E	9.0%以上
自己資本比率	50%以上

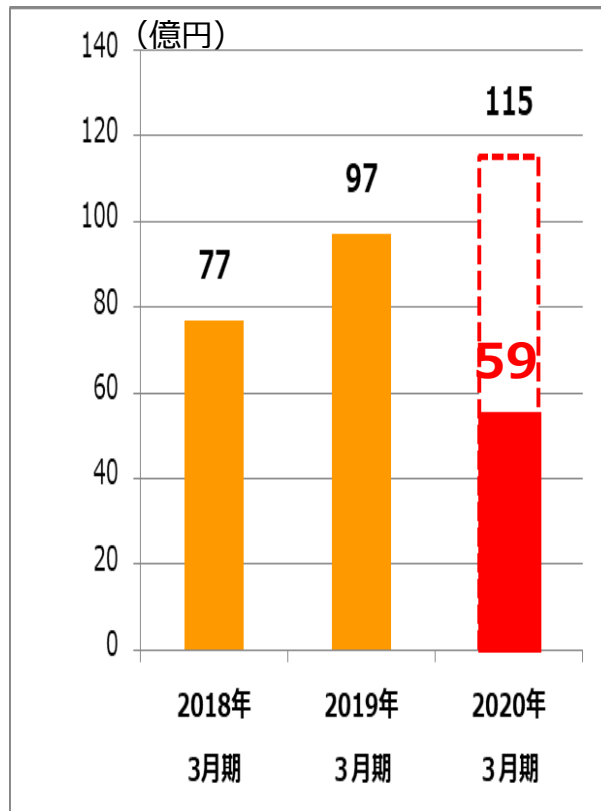
IV-3 . 中期経営計画17-19の進捗

連結売上高



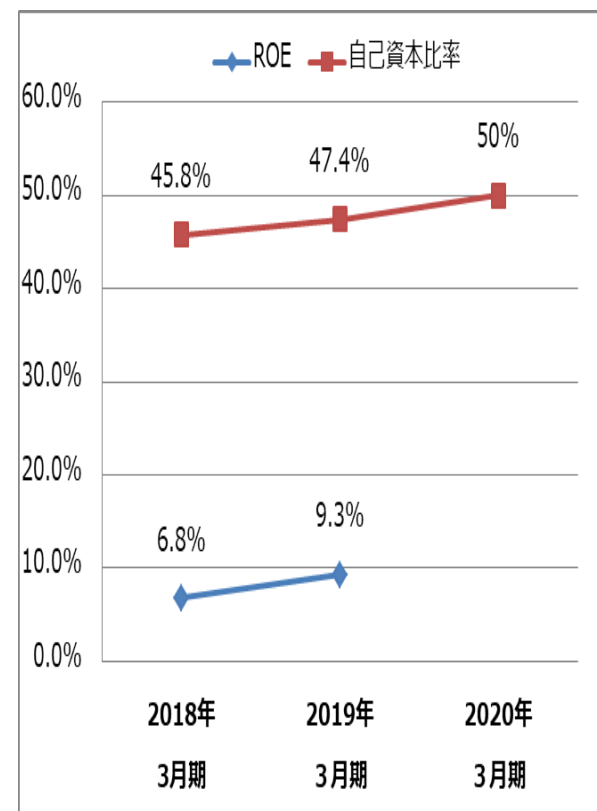
目標に対する達成率
49%

連結経常利益



目標に対する達成率
51%

自己資本比率



目標達成

IV-4-①. 基盤事業の強化

マーケット目線による価値提案の取組み

営業、企画、開発の連携により価値を創出

企 画

- 徹底したマーケットリサーチ
 - ・「食」を取り巻く市場分析
 - ・トレンド分析、喫食評価

営 業

- お客様のニーズの吸い上げ
 - ・「売れる●●を作りたい」
 - ・「流行の●●を取りいれたい」

開 発

- 商品の具現化
 - ・原料、工程、配合の最適な組み合わせ

市場・消費者調査

潜在ニーズ抽出

商品の具現化



**お客様への
価値創出**

IV-4-②. 基盤事業の強化

ユーザー別アプリケーション提案事例① 「製麺業界向け」

<提案書イメージ>

ラーメン	うどん	そば
● 国産小麦使用 ● ちぢれ麺 ● 弾力ある食感 ○鶏ガラ・豚ガラ使用スープ	● 角立ち ● つるみ ● もっちり食感 ○だし感・醤油感あるつゆ	● 風味と食感がよい麺 ○かつお節だし使用つゆ ◇海老の香り豊かなかき揚げ
● 国産小麦使用 ● 三層麺 ● 外はもちもち・中はぷりぷり食感 ○鶏ガラ濃厚スープ	● もちもち食感 ● 弾力のある食感 ○地区の嗜好にあったスープ	● のびにくい麺 ● のど越しがなめらか ○地区別のだしを使用 ◇米粉を入れ歯切れ・口どけが良いかき揚げ
● 二弾熟成製法 ● 細ストレート麺 ● 弾力がある食感 ○鶏ガラ濃厚スープ ○生醤油・たまり醤油使用の醤油スープ	● 多加水製法 ● もっちり・弾力のある麺 ○だしを加えたつゆをベースにしたカレースープ	● 適度な弾力 ● 歯切れのよい麺 ○枕崎産かつお本枯節と超特選醤油使用、芳醇な香り ◇口どけの良いかき揚げ

<例：ラーメンの構成要素>



麺・スープ・具材も含めた
総合的な傾向の把握

IV-4-③. 基盤事業の強化

ユーザー別アプリケーション提案事例② 「中食市場向け」

朝（まずは品揃え）



昼（かき揚げを下段に）



夕（パック天の強化）



生産性の向上：

- ・カット野菜メーカーと連携したキット商品の開発
- ・海外工場の活用によるプレフライ製品の開発

IV-4-④. 基盤事業の強化

ユーザー別アプリケーション提案事例③ 「肉食市場向け」



同時購買率実績例

カテゴリー	昨年比(%)	昭和商品	同時購買(%)	リフト値
キャベツ	118.2	魔法のお好み焼き粉	35.33	3.64
キャベツ1/2	133.1		0.07	2.48
なす	125.8		11.68	2.33
さつまいも	126.6		8.34	5.87
れんこん	123.5	天ぷら粉 黄金	4.70	4.34
ピーマン	109.8		10.13	2.13
かぼちゃ	125.6		½ 1.55	3.09
			¼ 7.24	2.53
合計	121.4			

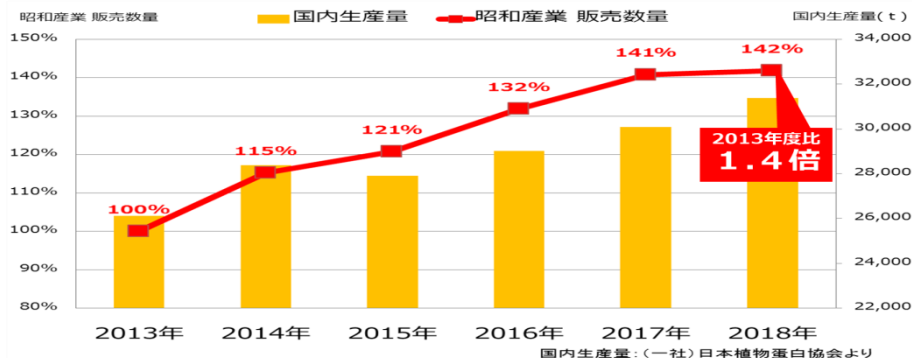
IV-4-⑤. 基盤事業の強化

業務用大豆たん白

鹿島工場 大豆たん白の生産能力増強

販売数量伸長に伴う、生産設備の更新

- 1.投資額 : 約3億円
- 2.生産能力 : 約110%
(更新前対比)
- 3.完成時期 : 2020年3月(予定)



※写真はイメージです

大豆たん白 販売強化

IV-4-⑥. 基盤事業の強化

船橋工場 プレミックス工場新設

船橋工場 プレミックス生産の強化

労働力不足への対応や価格競争力の確保

⇒最新の自動化設備やIoTによる高い生産性の実現

- 1.投資額 : 56億円
- 2.建設面積 : 鉄骨造5階建
延床面積約11,000m²
- 3.事業内容 : プレミックスの製造・包装
- 4.生産能力 : 年間約28,000 t
- 5.完成時期 : 2022年6月 (予定)



【完成予想図】

プレミックス 生産強化

IV-5. 事業領域の拡大

海外事業について

**「製粉事業」「飼料事業（鶏卵）」で台湾に新規参入
＜出資金額 約26億円＞**

2020年春 大成集団との合併事業開始

⇒小麦粉、鶏卵の製造販売で海外事業を強化

■ 國成麵粉股份有限公司

- ・ 所在地 : 台湾 桃園市
- ・ 事業内容 : 小麦粉等の製造販売
- ・ 増資後の出資比 : 大成集団 55%、当社 40% その他5%

■ 中一食品股份有限公司

- ・ 所在地 : 台湾 台南市
- ・ 事業内容 : 鶏卵の製造販売等
- ・ 増資後の出資比率 : 大成集団 65%、当社 35%

アジアへの事業展開を加速

IV-6-①. 社会的課題解決への貢献

E S G 経営の推進

E

環境への配慮

バイオマスを使用した「ごみ袋」開発

⇒船橋市の協力を得て、フィールド実験開始

《特長》

- (1) バイオマス（非食用小麦粉15%、工業用コーンスターチ5%）を20%使用
- (2) 石油由来プラスチックの使用量を20%削減
- (3) 廃棄(焼却)時のCO2の排出量を20%削減
- (4) 袋の強度等はJIS規格対応

**プラスチックの使用量削減
CO2排出の抑制実現**



IV-6-②. 社会的課題解決への貢献

E S G 経営の推進

E 環境への配慮

昭和産業グループ

「エコバックデザインコンテスト」開催

⇒プラスチックごみ削減に関する社員への啓発活動

- ・ テーマ：「エコでかっこいいバッグ」
- ・ 内容：テーマに沿ったデザインを公募
- ・ 対象：社員とその家族

「デザイン大賞」のデザインを用いて
オリジナルバックを制作、配布



※写真はイメージです

環境問題を日常的に意識する

IV-6-③. 社会的課題解決への貢献

E S G 経営の推進

E 環境への配慮

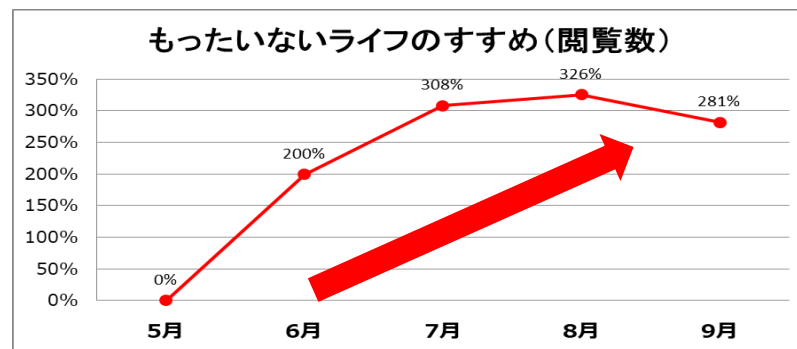
食品ロス削減の取り組み

【秀明大学
女子水球クラブチーム支援】
⇒出荷期限切れ等の製品提供

【コーポレートサイト「もったいないライフのすすめ」開設】



＜秀明大学水球クラブチームの皆さんと＞



IV-6-④. 社会的課題解決への貢献

未利用原料への取り組み①

未利用原料の活用可能性を検討

食品メーカー

外食

小売

商社・問屋

食品残渣など

賞味期限切れ食品など

新しい機能性原料の情報

飼料原料

IV-6-⑤. 社会的課題解決への貢献

未利用原料への取り組み②

うどんチェーン店との取組事例



IV-6-⑥. 社会的課題解決への貢献

自給率向上への取り組み

耕畜（こうちく）連携の推進



- 食料自給率の向上
- 水田・景観の維持
- 稲作・養鶏・消費者のサイクル形成



穀物ソリューション・カンパニー

SHOWA

昭和産業グループ

見通しに関する注意事項

本資料は、現時点で入手可能な情報や、合理的と判断した一定の前提に基づいて策定した数値であり、潜在的なリスクや不確実性などを含んでいることから、その達成や将来の業績を保証するものではありません。

また実際の業績等も本資料における見通し、計画等とは大きく異なる結果となる可能性がありますので、本資料のみに依拠して投資判断を下すことはお控え下さい。

なお、将来における情報・事象及びそれらに起因する結果にかかわらず、昭和産業グループは当中期経営計画を見直すとは限らず、またその義務を負うものではありません。